

interview  
 センパイに聞く/  
 移住者  
 インタビュー

仕事も生活もストレスフリー。  
 「こうなったらいいな」が  
 全部叶った海辺の暮らし。

移住  
 CASE  
 3

1ターン From 埼玉県  
 たけうち なおと 竹内 直人さん  
 るみ 瑠美さん To 高松市  
 家族構成：夫婦  
 移住年月：2024年  
 職業：WEBエンジニア(夫)  
 WEBデザイナー(妻)  
 ご出身：千葉県(夫)、東京都(妻)



香川の魅力をSNSでも発信

直人さん 移住前に「この辺に住めたら最高だね」と話していたエリアの物件が偶然空いていて、まさに思い描いた通りの環境で暮らせています。朝が苦手なので明るいうちはゆっくり過ごして、日没から仕事をする在宅ワークスタイルは東京と同じですが、今は毎日海辺を散歩したり、天気がいいと車で出かけたり。家賃が安い分、車を持って行動範囲が広がったのもよかった。埼玉の生活より便利になったくらいです。  
 瑠美さん まだまだ毎日観光気分です。県内のすてきな場所を見つけてはSNSで紹介もしています。移住希望者向けのつもりでしたが、香川にルーツのある人たちからの反応が多く、驚いています。  
 直人さん 僕のお気に入りには大の場海岸。あの場所を何か活気あるクリエイティブな発信の場にできないか考えているのですが…。

プラスよりマイナスを見極めて!

瑠美さん 私たちが移住に当たって重視したことであり、移住を考えている人におすすめしたいのは、「やりたい」の加算式ではなく「不便やストレスが少ない」土地を選ぶこと。エンターテインメントやショッピングを重視したいなら都会の方がいいかもしれませんが、そうではない私たちにとって、程よく活気がありつつゆったり過ごせる高松は、叶えたいことと失いたくないもののバランスがちょうどよかったんです。  
 直人さん 病院、学校、家族、ペット…自分の生活環境の中でそれまでの暮らしから「変化したら困ること」と、移住で実現したいことをじっくり検討して、実際に現地に足を運びながら、条件をクリアできる場所を選べば成功しやすいのでは。華やかな成功例ばかりではなく、「普通の人」があちこちへどんどん移住するのがもっと当たり前になればいいと思っています。

コラム  
 私のお気に入り  
 多島美と市街地のコントラスト  
 「屋島からのパノラマ」  
 海が見えるだけで幸せですが、山頂近くまで行くとパッと視界が開ける屋島の風景が大好き! 多島美と市街地のコントラストが最高です。  


一目惚れで決めた移住先

瑠美さん 移住の前提条件は「海のある土地に住みたい」。そこから細かく条件を検討して、関西から九州まで4か所に候補を絞って現地を回っていた時、たまたま時間が空いたので瀬戸大橋を渡って見たんです。そうしたら、サンポートの風景に一目惚れ! 2人で「ここだ」と心を決めました。  
 直人さん 僕は「現地に仕事さえあれば移住は難しい」と思っています。我々は夫婦でWEB制作を手掛けるフリーランスで、顧客とはもともとオンラインでやり取りしていますから、どこにいても仕事ができる。だからこそソフトウェア軽く動きました。  
 瑠美さん 私はサンポートにあるビジネス交流拠点「Setouchi-i-Base」のスタッフになってから対面のつながりが広がり、地域の仕事も増えてきた実感があります。人口が多くても孤立しがちな大都市圏にはなかったうれしい展開です。

「トピック」  
 きもちたかまる! 「高松の住みやすさ」  
 挑戦を後押ししてくれる環境

<p>物価が安い</p> <p>全国平均 100 香川          東京 104.7 98.2</p> <p>香川県は全国平均と比べ、総合的に物価が安い傾向にあります。また、地元で作られる新鮮な旬の野菜や果物が安く手に入るなんてことも。</p>	<p>安心価格の家賃相場</p> <p>東京 80,918円          高松 46,435円</p> <p>都市圏に比べて、家賃が圧倒的に安いことが魅力の一つ。都市感覚の予算であれば、デザインにこだわった、ゆったりと子育てができる広い物件が借りられます。</p>	<p>人口10万人当たりの          大型小売店数</p> <p>全国平均 4.9店 高松 9.0店</p> <p>市内には大型商業施設やアーケード商店街などがそろっていて買い物が便利。普段の生活必需品はもちろんのこと、必要なものは、なんでもすぐに手に入れることができます。</p>
---	---	---

出展:100の指標からみた香川(令和6年版) 出展:総務省「平成30年住宅・土地統計調査」 出展:100の指標からみた香川(令和6年版)